

経済建設 常任委員会

上下水道事業の現状を調査

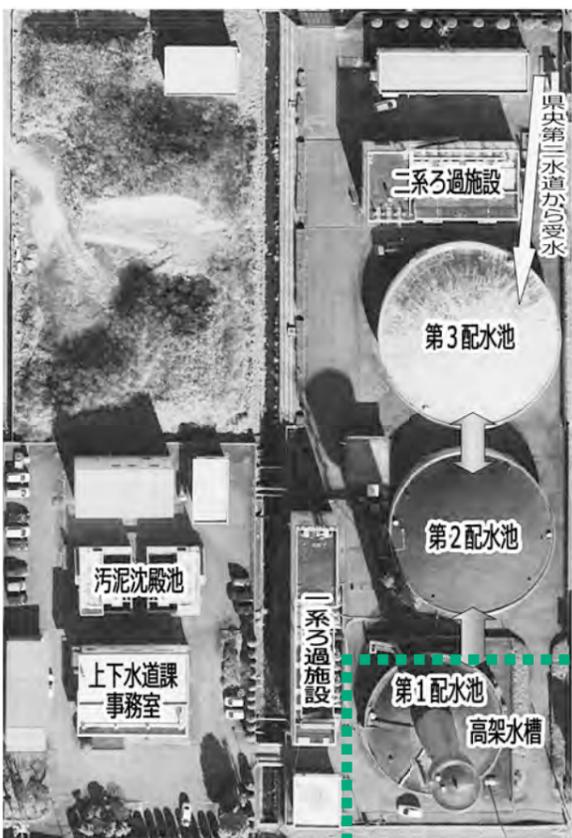
安定した水供給と下水道の整備促進を



委員長 石内 國雄 委員 渡辺 俊彦
副委員長 町田 宗宏 浅見 武志
筑井 あけみ

所管事務調査日：平成29年3月7日

将来にわたり安定した水の供給を



住宅等に隣接する高架水槽

●水道事業の概要
玉村町の水道は、9カ所の水源（深井戸）から取水した水をろ過し、配水池にて県央第二水道水と混合して町内全域に配水している。
配水施設の老朽化、耐震性が課題となっており、埋設管は年間約4キロメートルを耐震管に更新している。老朽化した高架水槽は、①継続して利用②シンボルとして保存③撤去の選択肢が考えられており、施設の耐震性、隣接住宅や水道施設への影響、費用負担等を総合的に検討している。

●下水道事業の概要
玉村町の下水道事業は、昭和56年に工事着手、昭和62年から供用を開始し、平成27年度末の下水道普及率は74.6%である。今後ステップアッププランにおいて平成35年度末までに計画管渠の約9割を整備していく予定。
雨水対策事業については、滝川、齊田上之手線、国道354号、びり堀（水道庁舎南）が平成27年度に完成したことにより、道路の冠水に対応するなど効果が現れている。

まとめ

水道事業については、埋設管や施設の老朽化への対応や耐震化等、多くの課題を抱えている。さらに人口減少により使用料収入の減少が予想されるが、住民のライフラインである水を安定供給できるように、今後も計画的で健全な運営が求められる。また、災害時においては給水車の配置など、近隣市・県・自衛隊等と連携して対応できる体制も必要である。
下水道事業については、ステップアッププランに基づき、計画どおりに事業が進捗するよう期待する。

総務 常任委員会

東松山市のデマンドタクシーを調査

ニーズに合った交通手段の確保を



委員長 笠原 則孝 委員 斉藤 嘉和
副委員長 備前島 久仁子 川端 宏和
石川 眞男

所管事務調査日：平成29年1月31日



デマンドタクシーの説明を受ける

●東松山市のデマンドタクシーの概要
東松山市のデマンドタクシーは、公共交通機関の空白区域における移動手段の確保、利用者の利便性向上を目的に、平成27年12月1日から運行を開始。時刻表はなく、電話で呼べば自宅前から乗ることができ、乗る場所、降りる場所は決められており、途中下車や寄り道はできない。料金は車両1台の金額のため、家族や友人と一緒に乗れば割安になる。
(表参照)

●利用状況と課題
登録者数は現在1万3574人。年代別に見ると、60歳以上の登録者が72.6%を占めている。(グラフ参照)
利用者は約1700人/月、件数は約6300件/月であった。
【課題】
・利用者増加による市の財政負担増(約550万円/月)
・午前中の利用者が多く、タクシーが出払っている場合がある
・報告書の作成など、タクシー会社及び市職員の事務量が増加

まとめ

東松山市におけるデマンドタクシーは、登録・利用者数が増加している一方、市の財政負担が増加している現状も確認できた。
玉村町も平成29年10月から交通弱者対策事業として、75歳以上の高齢者等に対してタクシー料金の一部を補助する実証実験に取り組み。高齢者や交通弱者等の移動手段の確保については、今後も引き続き研究を進める必要があると考える。

表 東松山市のデマンドタクシー料金

タクシーメーター料金	利用料金
2000円未満	500円
2000円以上3000円未満	1000円
3000円以上	1500円

※障害者、運転免許返納者は1割引

